

PTA人権教育講演会・人権集会がありました



10月26日(土)に土曜授業を実施しました。ご参観いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。

PTA人権教育講演会では、「認知症について楽しく知ろう」という演題で、「ぶどうの家」の方々からお話を聞きました。先ほど食事をとったばかりなのに、食器を下げようとする、「まだ、食べていない。」という認知症の方にどう対応したらよいか、みんなでよく考えました。「認知症の方は、何もできないわけではない。本人の力を引き出して、その人らしい生活が送れるようにお手伝いをすることが大切だ。」ということ学びまし

た。認知症の方を含め誰でも安心して生活できる町にするために、「うわさにしない。仲間外れにしない。他人ごとにしなない。」ということに協力してほしいというお話に、生徒たちは真剣に耳を傾けていました。

また、人権集会では、6月に作成した人権目標の達成状況や今後の課題について各クラスで話し合った内容を各学級委員が発表しました。目標達成へのさらなる意欲が伝わってきて、頼もしかったです。お互いを尊重し合って学校生活をより良いものにしてほしいと心から願っています。



学力・学習状況調査等の結果から

4月に実施された全国、県、市の学力・学習状況調査の結果に基づいて、次のとおり課題を把握し、今後の学習指導や生活指導に取り組んでまいります。

1 傾向及び課題について

- ・ どの教科も基礎的・基本的な学習内容については学力が定着している。
- ・ 国語においては作文に、数学においては関数や一次方程式、面積と体積、比例・反比例等に関する領域の問題に課題が見られる。
- ・ 英語においては記述式の問題や語彙の知識・活用の問題に課題が見られる。
- ・ 宿題をしている生徒の割合は高いが、計画を立てて学習している生徒の割合は高くない。
- ・ スマホ、ネット、ゲームの時間がやや多く、睡眠時間がやや少ない。
- ・ 自己肯定感が高いほど、好ましい生活・学習習慣を身に付けている生徒の割合が高い。

2 課題に対する取組について

- ・ 各種検査の結果に基づいて個に応じた指導を見直し、授業のさらなる改善を図る。
- ・ 授業における話し合い学習により、自分の考えを筋道を立てて話す力を育成する。
- ・ 自主的・計画的に宿題に取り組めるよう、量や質の見直しを図ったり、自主学習ノートを奨励したりする。
- ・ 放課後学習等を利用して、学習の機会を提供する。
- ・ 「ノーメディアデー」の取組等により、家庭学習の時間確保を図る。
- ・ 行事や生徒会活動において自主的な活動の場を確保し、達成感と自己肯定感を高める。
- ・ 各種活動・行事を行う中で、きまりを守り、支え合い・高め合う仲間づくりを目指す。